

第 5 章

にぎわいと活力のあるまちづくり

(都市・産業の基盤整備)

5・1 中心市街地整備

目標

商店街の活性化、都市機能の充実、居住環境の改善により、みんなが集い楽しめる活力のある便利な本市の顔づくりを進めます。

計画の体系

中心市街地整備	A 街区開発事業の推進 D 街区の整備促進 中心市街地の景観向上 安全で快適な道路環境の整備 既存商店街の活性化の推進 中心市街地の定住促進	ア シンボルロードなどの整備 イ 北外山入鹿新田西之島線の整備 ウ 歩行者ネットワークの整備
---------	---	--

主な現行事業

街路新設改良事業
市営駐車場施設管理事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
小牧駅周辺整備事業 【小牧駅前活性化推進室】	小牧駅周辺整備計画に基づき、概略設計を行う。	10,000
D 街区整備検討事業 【小牧駅前活性化推進室】	D 街区の整備方策を策定する。	4,000
公共駐車場事業 【小牧駅前活性化推進室】	公共駐車場事業特別会計への繰出金	40,000

5・2 市街地整備

目標

良好な生活環境の確保とバリアフリーを進め、秩序とうるおいのある人にやさしい市街地形成を目指します。

計画の体系

市街地整備	密集市街地、住工混在地などの整備 面的整備の推進 小牧山周辺整備 名鉄小牧線の駅前整備の推進 良好な市街地形成 市街地道路ネットワークの整備	ア 密集市街地の整備 イ 住工混在地の整備 ア 施行中土地区画整理事業の早期完成 イ 市民主導の整備手法の確立 ウ 新規事業の推進 ア 計画道路の早期事業化 イ 歩行者と車の共存を目指す道路計画
-------	---	---

主な現行事業

街路新設改良事業

小牧駅前広場施設管理事業

主な計画事業		単位：千円
事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
土地区画整理事業 【区画整理課】	・小松寺、文津、岩崎山前、小牧南、 小牧原北屋敷の各特別会計への繰出金 ・久保一色新田地区の準備経費など	5,244,000
田県神社前駅駅前整備 事業 【都市整備課】	田県神社前駅の駅舎移設及び駅前広場 の整備を行う。	103,000
市街化区域総見直し調査 事業 【都市整備課】	平成22年度の市街化区域の総見直し に向け、計画案を作成する。	9,500
都市計画マスタープラン 策定事業 【都市整備課】	平成22年度からの新しい計画の策定 に向け、計画案を作成する。	25,000

5・3 交通網整備

目標

道路、公共交通、自転車、歩行者などの分野において、安全で、便利・快適な交通環境の形成を目指します。

計画の体系

交通網整備	名鉄小牧線の利便性の向上 バス路線の充実 安全で快適な人にやさしい生活道路などの計画的整備 主要幹線道路などの整備 違法駐車防止 自転車駐車場の整備	ア 生活道路の再整備 イ 道路施設の整備
-------	---	-------------------------

主な現行事業

- 公共交通利用促進事業
- こまき巡回バス運行事業
- 尾北地区広域交通網対策連絡協議会
- 自転車駐車場管理事業
- 道路整備事業（投里2号線、小木2号線など）
- 橋りょう整備事業

主な計画事業		単位：千円
事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
道路整備事業 【道路課】	幹線道路や一般市道の整備を行う。	1,162,000
橋りょう整備事業 【道路課】	橋りょうの新設改良や維持補修を行う。	250,000
街路新設改良事業 【道路課】	都市計画道路など主要幹線道路の整備を進める。	1,313,000
交通安全施設整備事業 【道路課】	歩道等交通安全施設の整備を進める。	(2・8 交通安全 参照)
総合交通計画策定事業 【都市整備課】	交通全般に関わる総合的な計画を策定し、誰もが安心して円滑に移動できる交通体系を確立する。	60,000
土地区画整理事業 【区画整理課】	小松寺・文津・岩崎山前・小牧南・小牧原北屋敷の各特別会計への繰出金	(5・2 市街地整備 参照)

5・4 情報通信

目標

市民参加型の地域情報通信社会を推進し、多様化、高度化する市民ニーズに対応した高度情報通信システムの確立を図ります。

計画の体系

情報通信	情報通信基盤整備・活用の推進	ア 情報通信基盤の整備 イ 情報通信基盤の活用 ウ C A T Vの充実と加入促進 エ 庁内情報化の推進
------	----------------	---

主な現行事業

情報システム管理・開発支援事業

あいち電子自治体推進事業

市政情報発信事業（市ホームページ、市政情報番組）

I T 推進事業

5・5 農 業

目標

「農地」と「担い手」の一体的な取り組み強化を図り、効率的な農業を目指すとともに、水田が持つ自然の遊水池として災害防止機能の確保と、自然志向に応えた自然環境に配慮した農業を展開します。

計画の体系

農 業	農用地の保全	ア 優良農用地の保全 イ 遊休農地・耕作放棄地などの有効活用
	農地流動化の促進	ア 安心できる農地の貸し借り イ 農地銀行活動の啓発と推進 ウ 農地の利用集積
	効率的・安定的な農業経営の促進	ア 農業経営の合理化・規模拡大への支援 イ 法人組織の育成
	花き生産の振興	
	農業公園の整備推進	
	農業用水と生活排水などの分離	

主な現行事業

市民菜園事業
 農業委員会運営事業
 農業振興地域整備促進対策事業
 米生産調整推進対策事業
 農地流動化対策事業
 農業経営基盤強化促進対策事業
 農業用施設維持管理事業
 水質保全対策事業
 農業団体等支援事業
 農地・水・環境保全向上対策事業

主な計画事業		単位：千円
事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
農業集落排水事業 【下水道課】	農業集落排水事業特別会計への繰出金	150,000
かんがい排水事業 【農政課】	篠岡土地改良区域内的の排水路の改良 工事を行う。	30,000
水質保全対策事業 【農政課】	合瀬川水系の用水をパイプライン化 し、排水との分離を図る。	49,199
ため池整備事業 【農政課】	雨水流出抑制対策として、雨水貯留 施設、ため池整備などを進める。	(2・12 水環境(河川・水路) 参照)

5・6 商業

目標

まちづくりと一体化した商業基盤の整備を進め、消費者ニーズに対応した個性と魅力ある商店街の整備と経営の近代化を推進します。

計画の体系

商業	商店街の基盤整備	ア 魅力ある商店街づくり イ まちなみ景観の形成
	商業立地環境の整備	
	経営の近代化	ア 経営者の人材育成と経営指導の充実 イ 情報化の支援
	商店経営者の組織強化と商店街活動の強化	

主な現行事業

中小企業相談所運営助成事業
小売商業支援事業
産業活性化事業助成事業
I S O 認証取得助成事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
金融支援対策事業 【商工課】	中小規模商工業者が事業上必要とする資金の融通を円滑化にし、中小企業の経営基盤の強化を図る。	1,549,500
中小企業設備近代化助成事業 【商工課】	平成14～19年度に限定していた市内中小企業の経営基盤強化のための助成を平成20年度まで1年延長する。	31,000
地域限定商品券発行事業 補助事業 【商工課】	「地域限定商品券事業」に対して事業費の一部を助成する。	3,000

5・7 工業

目標

既存産業の高度化を図るとともに、環境関連産業など次代を担う新しい産業の集積や、研究開発機能の誘導を推進します。

計画の体系

工業	<p>工業立地のための基盤整備</p> <p>先端産業、研究開発機能の誘導・誘致</p> <p>既存工業の近代化・高度化の促進</p>	<p>ア 先端産業の誘導・誘致</p> <p>イ 研究開発機能の強化</p> <p>ア 中小企業の活力支援</p> <p>イ 品質ISO、環境ISOの取得支援</p> <p>ウ 人材の育成</p>
----	---	--

主な現行事業

東部地区開発基本計画の推進
 中小企業相談所運営助成事業
 産業活性化事業助成事業
 ISO認証取得助成事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
東部地区開発事業 【企業立地推進室】	東部地区開発事業特別会計への繰出金	(5・10 東部地区整備参照)
金融支援対策事業 【商工課】	中小規模商工業者が事業上必要とする資金の融通を円滑化にし、中小企業の経営基盤の強化を図る。	(5・6 商業 参照)
中小企業設備近代化助成事業 【商工課】	平成14～19年度に限定していた市内中小企業の経営基盤強化のための助成を平成20年度まで1年延長する。	(5・6 商業 参照)

5・8 物 流

目標

東部地区開発基本計画内の物流拠点などの整備を促進するとともに、市内主要幹線道路の整備を進めます。

計画の体系

物 流	物流拠点の整備 物流機能の条件整備	ア 自動車専用道路の建設促進 イ 主要幹線道路の整備
-----	--------------------------	-------------------------------

主な現行事業

東部地区開発基本計画の推進

「名古屋空港の活用及び周辺地域振興基本構想」の具体化の推進

主要幹線道路の整備

5・9 名古屋空港

目標

新空港への定期航空路線一元化による負の影響をできる限り回避するため、新たなまちづくりへの対応を関係機関に強く要望します。

計画の体系

名古屋空港	<p>新空港(中部国際空港)開港後の新たな振興策の実施</p> <p>定期航空路線一元化に伴う財政への影響の回避</p> <p>空港機能の変革に伴う自衛隊機能強化の防止</p> <p>新空港(中部国際空港)への利便性の向上</p> <p>ゼネラル・アビエーション空港機能充実を生かしたまちづくり</p>
-------	---

主な現行事業

「名古屋空港の活用及び周辺地域振興基本構想」の具体化の推進
 県営名古屋空港協議会

5・10 東部地区整備

目標

新しい土地利用計画に基づき、「住」「働」「裕」それぞれの生活の場を具体的に考え、バランスのとれた緑豊かな都市基盤整備を図ります。

計画の体系

東部地区整備	高次都市機能の集積	ア 先端技術型産業機能の育成 イ 研究開発型産業へのシフト ウ 物流機能の拡充 エ 試験研究機関の誘致
	田園環境の保全・活用	
	自然を生かしたレクリエーションゾーンの整備・充実	
	緑と調和した交通基盤の整備	ア 幹線道路網の整備

主な現行事業

東部地区開発基本計画の推進
ふれあいの森整備事業
道路整備事業
街路新設改良事業（小牧東部中央線）
バラ・アジサイ祭開催事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
東部地区開発事業 【企業立地推進室】	東部地区開発事業特別会計への繰出金	30,000
(仮称)農業公園整備事業 【農政課】	食育と環境学習をテーマにした農業公園の整備を行う。	(2・13 公園・緑地 参照)